

論点等説明シート

事業名

介護給付等費用適正化事業

| 予算の状況 (単位:百万円) | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度要求 |
|-------------------|-------------|------|-------|--------|------|--------|
| | 予算額(補正後) | - | 528 | 679 | 698 | |
| | 執行額 | - | 461 | 679 | | |
| | 執行率 | - | 87.3% | 100.0% | | |
| | 総事業費(執行ベース) | - | - | - | | |

事業についての論点等

(論点)

○各都道府県は、介護給付費適正化の取組の目標を定めた「介護給付適正化計画(H20～H22)」を策定しており、各保険者は本計画に基づき適正化事業を実施している。

【主要な適正化事業】

- ①認定調査状況チェック、②ケアプランの点検、③住宅改修等の点検、
④医療情報との突合・縦覧点検、⑤介護給付費通知

○国は平成22年度までに、すべての保険者が主な適正事業を実施していることを目標と掲げているが、事業によってはいまだ低調な事業が見受けられるとともに取組状況に地域差が見られるところ。

【参考:主要な適正化事業の実施状況】

①認定調査状況チェック(90.4%)

- ・実施率が高い都道府県：栃木県、富山県、石川県外6県(100%)
- ・実施率が低い都道府県：山形県(62.9%)、青森県(67.5%)、秋田県(68.2%)

②ケアプランの点検(45.1%)

- ・実施率が高い都道府県：福岡県(96.4%)、富山県(88.9%)、山梨県(85.7%)
- ・実施率が低い都道府県：秋田県(4.6%)、和歌山県(6.7%)、島根県(23.1%)

③住宅改修等の点検(79.0%)

- ・実施率が高い都道府県：石川県、佐賀県(100%)、高知県(96.7%)
- ・実施率が低い都道府県：徳島県(52.2%)、千葉県(58.9%)、秋田県(59.1%)

④医療情報との突合・縦覧点検(68.9%)

- ・実施率が高い都道府県：岐阜県、大阪府、和歌山県(100%)
- ・実施率が低い都道府県：奈良県(38.5%)、京都府(42.3%)、山形県、宮崎県(42.9%)

⑤介護給付費通知(57.6%)

- ・実施率が高い都道府県：栃木県、福井県、香川県(100%)
- ・実施率が低い都道府県：青森県(12.5%)、長野県(16.7%)、北海道(16.9%)

○本事業について、どのようなやり方を行えば、より事業効果が挙がるのか検証を行う必要があるのではないか。

○さらに、各都道府県が、各保険者の意見を聞き策定している「介護給付適正化計画」についても、十分な分析・検証を行い、目標等を具体的に定めさせるなどの見直しを行うことにより本事業の促進を図り、介護給付費の適正化を進めていくべきではないか。

【参考:主要5事業の実施数と介護給付費の関係】

| | 保険者数 | 給付費の伸び (H19～H20) |
|-------|------|---------------------|
| 5事業実施 | 338 | 1.18 |
| 4事業実施 | 488 | 1.43 |
| 3事業実施 | 456 | 1.73 |
| 2事業実施 | 252 | 2.30 |
| 1事業実施 | 96 | 2.23 |